

1. 日時 平成 30 年 1 月 15 日 (月) 10:00~12:00
2. 会場 日本学術会議 5-A(1) 会議室
3. 出席者 氷見山幸夫(委員長)、石川義孝、春山成子、亀山康子、近藤昭彦、櫻井武司、中村桂子、山口しのぶ、山田高敬、吉田謙太郎
(欠席：岡本耕平、篠田雅人、城山英明、山形与志樹)

4. 配付資料

- 資料 1 設置提案書
- 資料 2 委員名簿
- 資料 3 第 23 期・第 10 回 HD 分科会議事要旨
- 資料 4 2017.7.3.HD シンポジウムポスター
- 資料 5 KLaSiCa 小委員会申し送り
- 資料 6 「学術の動向」特集企画案 (追加)

5. 議事

(1) 分科会役員を選出と承認 (資料 1、資料 2)

・今期分科会委員長として氷見山委員が選出され、副委員長に櫻井委員、幹事に山田委員と亀山委員が指名され、承認された。

(2) 前期分科会の申し送り事項

・資料 3 に基づき、前期分科会の「分科会を速やかに立ち上げ活動を継続すべし」との申し送りを踏まえ、今期も鋭意努力することを確認した。

・前期からの引継ぎ事項として、「学術の動向」特集企画案のタイトルを再検討した (資料 6)。結果、「地球環境変化の人的側面研究の推進に向けて」をタイトルとし、また、サブタイトルに SDGs, Future Earth, 等を入れる方向を確認し、表現等の取りまとめを委員長に一任した。

(3) HD に関する国際的・国内的動向

・氷見山委員長より、国際的、国内的動向の情報共有があった。特に国内に関しては、FE・WCRP 合同分科会と本分科会の位置づけや ICSU と ISSC の合体に伴う諸々の動向に関する話が共有された。

(4) 今期の分科会の活動方針

- ・日本地球惑星科学連合大会における HD 関連セッションの開設に引き続き取り組むこととした。
- ・年に 1 度の公開シンポジウム開催と、できれば提言も目指すことになった (資料 4)。
- ・文理融合のあり方に関する関心が委員より示された。

(5) 小委員会の設置及び特任連携会員の推薦 (資料 5)

- ・KLaSiCa 小委員会の設置、及び当該小委員会の世話人として阿部健一氏を本分科会の特任連携会員に推薦す

ることを承認し、速やかに手続きを進めることとした。

(6) その他

- ・分科会活動を充実させるために、本分科会の委員として相応しい会員・連携会員を追加で受け入れることとした。委員長より、追加委員の推薦は委員長宛 1 月 20 日までにしてほしい旨要望があった。
- ・委員長より、本分科会の委員定数を 15 名から 25 名に引き上げることが提案され、了承された。
- ・次回の分科会は、4 月 27 日午後 1 時から開催することで合意された。